

腹腔鏡下手術を御存じですか？



腹腔とはいわゆる「おなかの中」であり、胃や腸などの臓器が納まっている空間です。

腹腔鏡下手術とは、この「おなかの中」にカメラを入れてテレビモニターを見ながら行う手術のことを言います。

おなかを大きく切らないため、従来の開腹手術と比べて**患者さんへの負担が少ない**のが特徴です。

腹腔鏡下手術ではおなかに5-12mm程度の穴を4~5箇所あけて、そこからカメラや鉗子(かんし)という組織を持つたりはがしたりする道具を入れて手術を行います。



腹腔鏡下手術のメリット



従来の開腹手術



腹腔鏡下手術

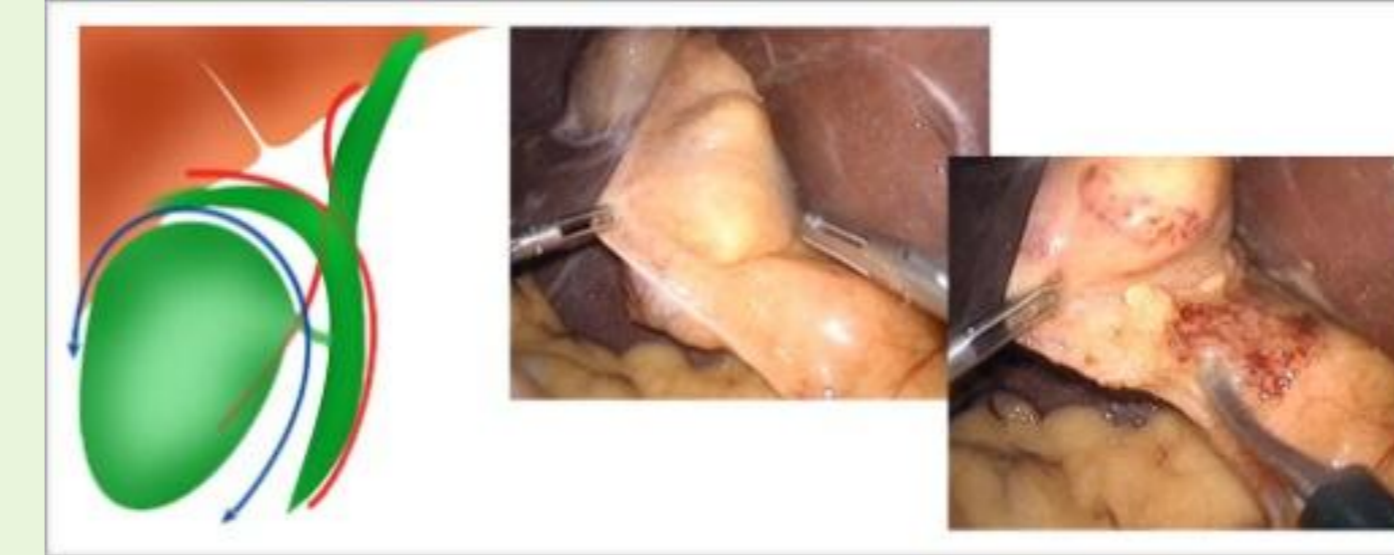
腹腔鏡下手術の最大の特徴は**低侵襲(からだへの負担が少ない)**手術であることです。

- ・傷が小さく、目立たないため、美容的に優れています。
- ・おなかを大きく切らないので術後の痛みが少なくなります。
- ・入院期間の短縮により、早期の社会復帰ができます。

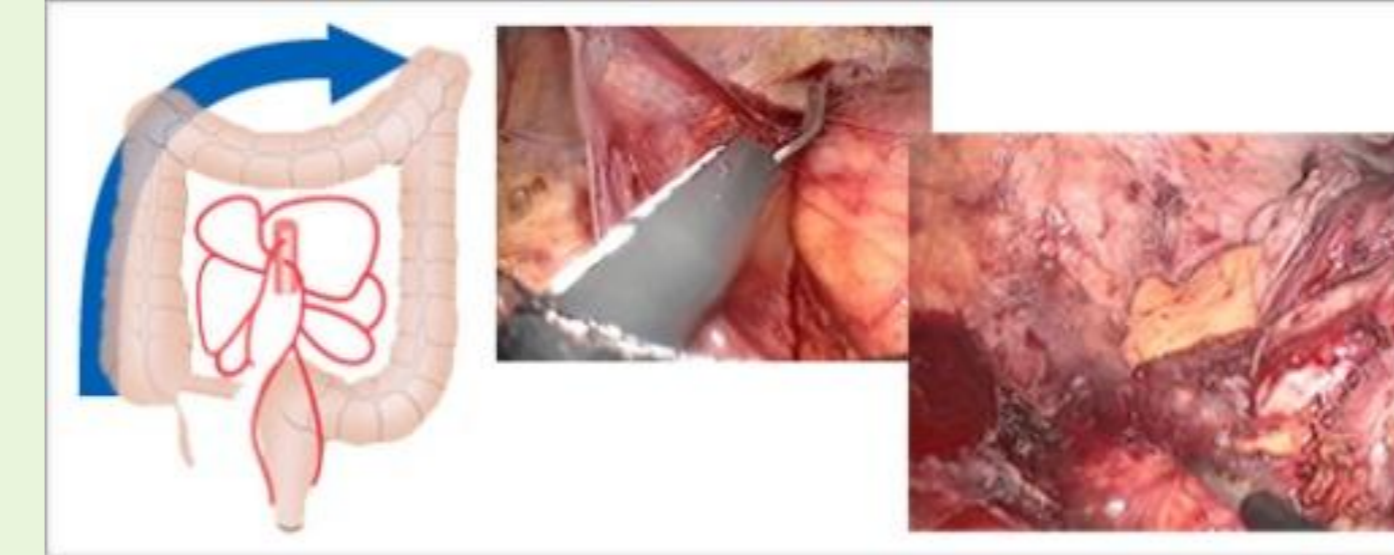
詳しくは担当医師までお気軽にお問い合わせください。

医療法人社団 東山会 調布東山病院

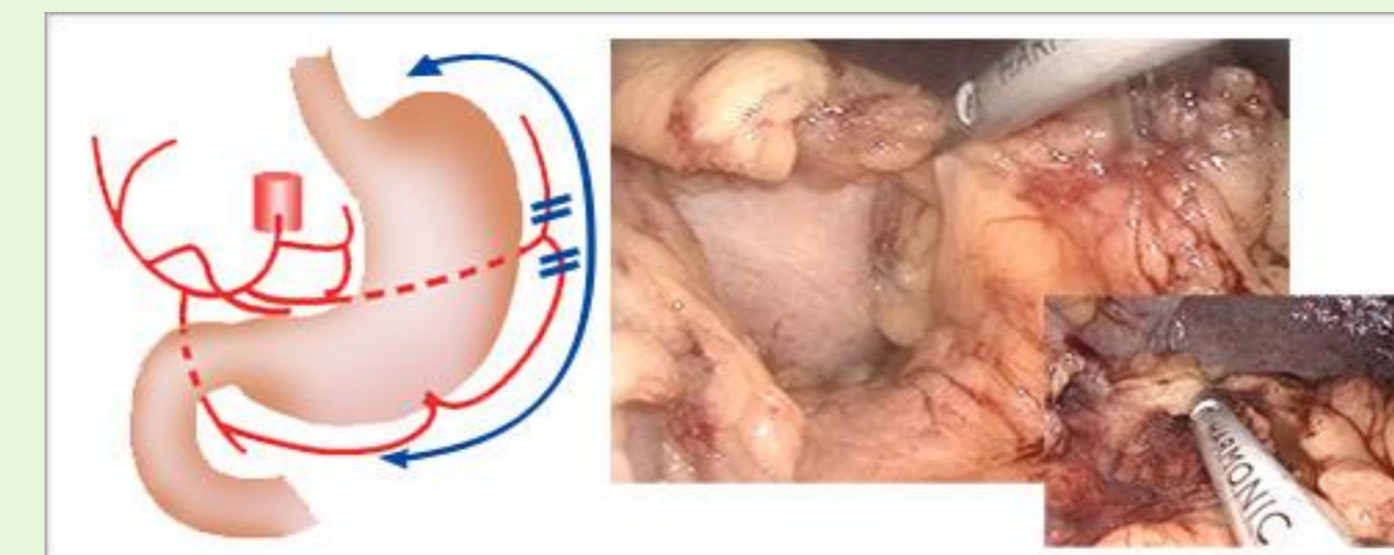
腹腔鏡下手術の主な適応



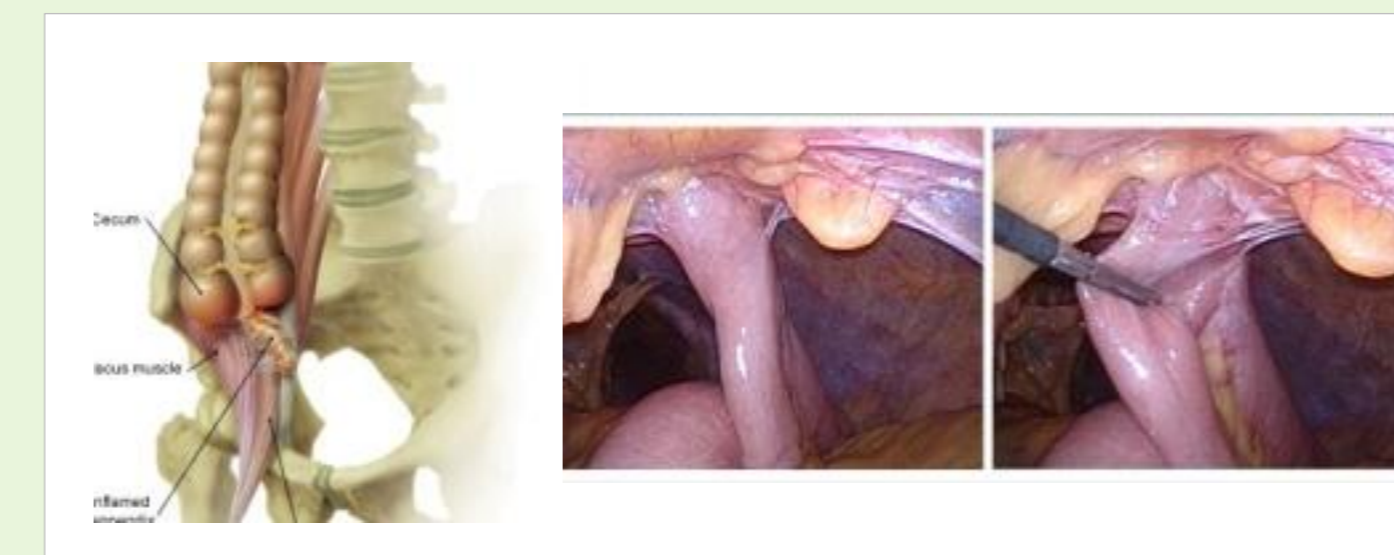
腹腔鏡下胆嚢摘出術



腹腔鏡下大腸癌手術



腹腔鏡下胃癌手術



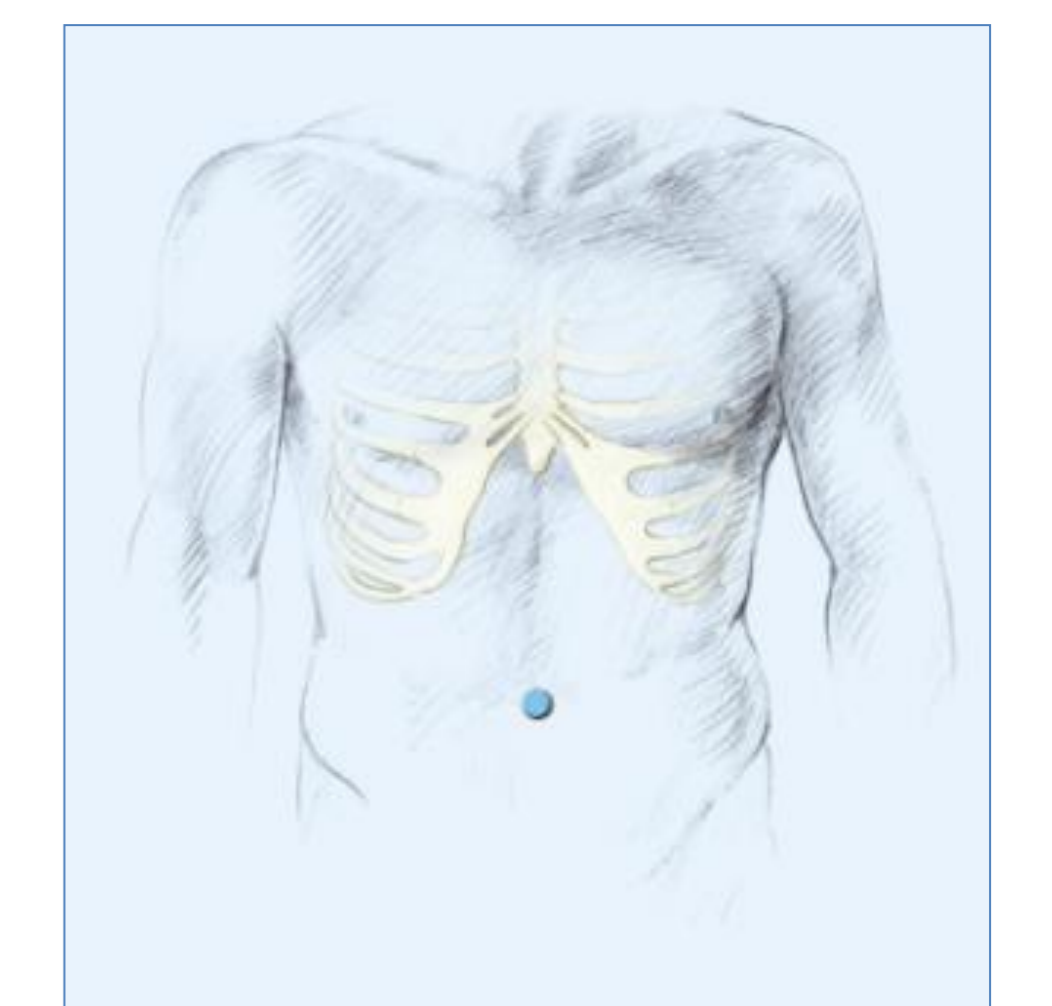
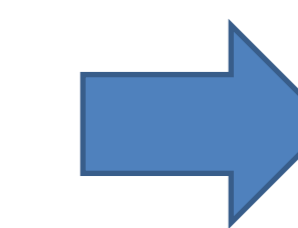
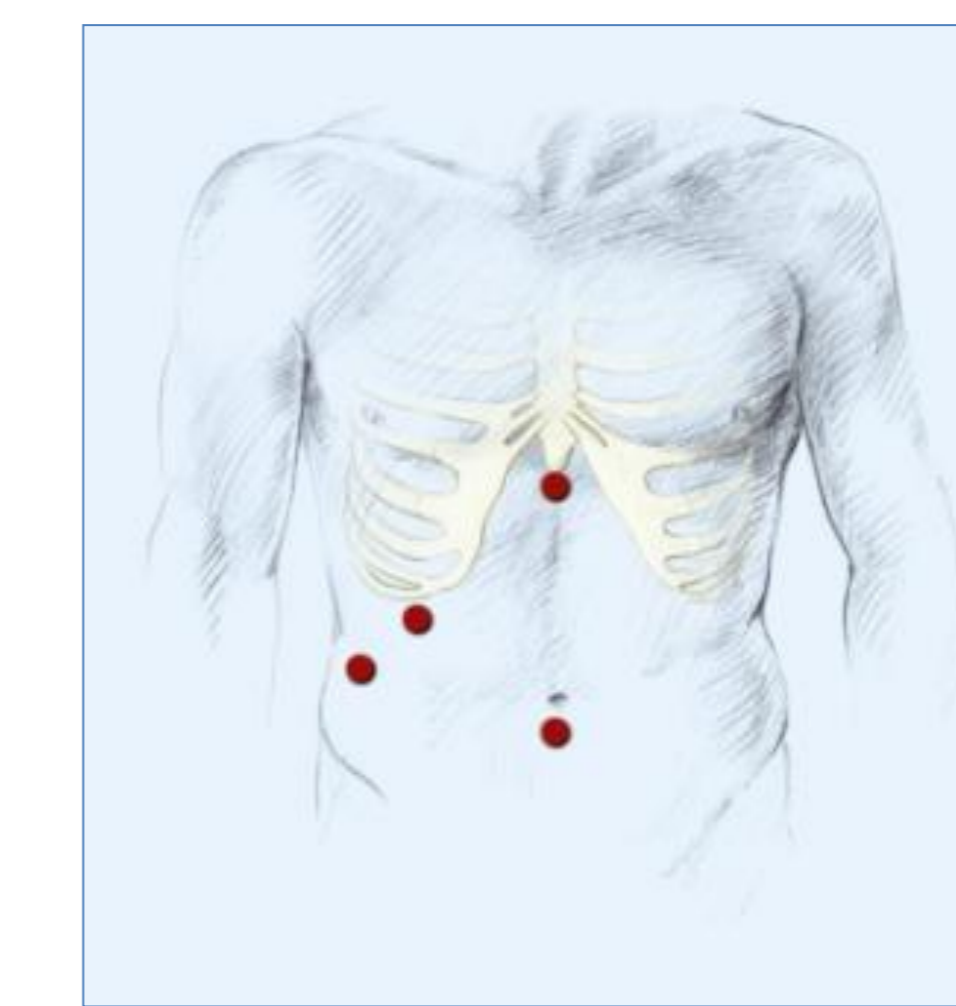
腹腔鏡下虫垂炎手術

当院では主に上記の疾患に対して腹腔鏡手術を実施しておりますが、患者さんの状況によっては御希望に応じられない場合もございます。

新しい腹腔鏡手術「単孔式腹腔鏡下手術」



従来の腹腔鏡手術



単孔式腹腔鏡下手術

単孔式腹腔鏡下手術とは近年広がってきた最新の腹腔鏡下手術です。

従来の腹腔鏡下手術では4~5箇所の穴をあけて手術を実施しますが、単孔式腹腔鏡下手術では臍部(へそ)の1箇所の穴から手術を行うため、手術後はほとんど傷跡が残りません。

現在当院では虫垂炎、胆石症を適応としておりますが、安全性が重要ですので炎症の程度によっては単孔では手術を行えない場合もございます。